

北広島市学校給食におけるアレルギー対応について

学校給食のねらいは、健康の保持増進はもとより、食事・運動・休養の調和のとれた生活習慣や日本の伝統的な食文化を身につけることにあると考えます。

特に、心身ともに成長発達の途上にある児童生徒にとって、栄養バランスのとれた食事を1日3回きちんと摂り、合理的に栄養を摂取することは健康な生活を送る上で基本となるものです。

また、教師や友人と和やかに食事することは、豊かな心や望ましい人間関係を育成するうえからも、大切な役割を果たすものであると考えます。

北広島市では、国・北海道の食物アレルギー対応指針（平成27年策定）を参考に、現在の学校給食センターの能力や規模に応じた対応を取ることで、学校給食が原因となるアレルギー症状を起こさせないようにすることを前提として、食物アレルギー対策を実施しています。

また、食物アレルギーをもつ児童生徒は、アレルゲンの種類や症状の程度が一人一人異なるため、学校給食の安全確保と児童生徒の健康第一の観点から、児童生徒のアレルギー症状を正しく把握し、正しい判断に基づいた対策に取り組むことが必要と考えます。

本市学校給食における食物アレルギー対応の基本的な考え方は、次のとおりとしています。

1. 施設・設備の現状を踏まえ、その能力に応じた対応を行います。
2. 日頃から誤配・誤食の防止に細心の注意を払い、保護者との信頼関係を大切にします。
3. 保護者・学校・学校給食センターが相互に連携・協力しながら、児童生徒に対して安全・安心な給食の提供を行います。

今後とも、実際の食事という生きた教材であります学校給食を通して、健康教育の一環としての役割を果たすために努めてまいります。

現段階で、北広島市給食センターで実施しているアレルギー対応については以下のとおりです。